

令和2年度 No. 4 令和3年1月8日(金)	富士見中学校だより 希望かがやく	川越市立 富士見中学校 Tel 242 - 0931
-------------------------------	----------------------------	----------------------------------

令和3年 1月 8日

校長 矢嶋 充夫

「みんなの姿が原動力！」 始業式式辞 (抜粋・放送による)

みなさん、あけましておめでとうございます。いよいよ3学期が始まりました。

ステイホームの冬休み。退屈だったと思いますし、ストレスがたまったかもしれません。この休み中、何か悩みがあったり、解決できそうもないことがあったりしたかもしれません。是非、話しやすい先生に話を聞いてもらい、いち早く元気に復活できるようにしてください。

さて、3学期は「あっ」という間に過ぎていきます。一番短い学期。1年の締めくくりの学期です。いかに1日1日を大切に、前向きに過ごすかがとても重要です。そして次の学年、進路先に向けて、この3学期で大きな成果を得ることが重要です。中学生は「自立」が大切です。目標を立て、「自分でする」「自分のやったことに責任をとる」「自分のやった結果を振り返る」このような積み重ねこそが成長をもたらすといえます。

1年生は、中学校に入学し1年が経とうとしています。勉強や部活動、富士見中の生活はどうでしょう。今年、4月に入学してくる現在の小学6年生に、挨拶や無言清掃、ノーチャイム、行事などの素晴らしさを伝え教えることができる先輩になれるでしょうか。

2年生、友達とのつながりを大切にし、自分の良さを自覚し、富士見中を代表する最上級生になれるでしょうか。部活動や生徒会活動、体育祭、合唱祭などで、富士見中を背負える生徒になってほしいです。「4月から」ではなく、今から進路決定に向けた歩みが始まっているのです。

3年生、いよいよ入試ですね。例年とくらべ、様々な心配があると思います。みんな笑顔でいるけれども、内心は心配でしょうがない。友達みんなが同じです。不安な時こそ、今まで皆さんが築いてきた人間

関係が力になるでしょう。受検(験)は団体戦。最後まであきらめずにしっかりがんばれ！そして心に残る温かな卒業式を迎えましょう。

感染状況が今までよりも悪く深刻な状況であることを受け、緊急事態宣言が発出されるそうです。様々な面で制約がかかることで、保護者の皆さんも大変なご苦労をされていることであろうかと思えます。そのような中で**生徒の皆さんが頑張っている姿や笑顔が大切ですし、何よりも皆さんのその姿が保護者の皆さんにとって、社会の中で大きな力をもたらします。**

この3学期、自分を信じ、仲間を信じ、誇りある富士見中にしていきたいと思います。

富士見魂 5つの誇り

- 1 あいさつと感謝を忘れません。
- 2 授業を大切にします。
- 3 いじめは許しません。
- 4 熱いチームワークを大切にします。
- 5 清掃を一生懸命します。

入試が迫ってきた！

3年生にとっては、さぞ不安だと思います。しかし、みんな一緒。万が一コロナのための措置もできました。さあ！エールを送りましょう。

1, 2年生はすぐに自分の番。3年生の頑張りを目に焼きつけておきましょう。



校長のひとりごと

実は、今年度、生徒の前に立って授業をする機会(朝会)がコロナのためにありません。悔しくて、残念で……。しかし、だからといって校長室に閉じこもる訳にはいきません。こちらから教室に向き、コロナの感染について全クラス5分程度で話をしました。なんと、性分です。

緊急事態宣言が出されました。

1月7日(木)「緊急事態宣言」が出されました。感染防止は、学校だけではできません。学校は、最善を尽くして参りますが、御家庭、地域の皆様も統一的に感染防止の行動をとることが重要だと考えます。いち早く生徒の皆さんの意識を高め、感染防止できるよう1月8日(金)の朝、放送で話した内容を掲載します。

皆さんも十分知っているとおり、政府から緊急事態宣言が発出され、埼玉県、川越市も対応しなければなりません。富士見中としても、生徒の皆さん、家の人、富士見中の教職員、すべての皆さんの健康で安全な生活のために、今までの生活を皆さんに変えてほしいと強く考えています。

昨日の感染者数は、東京で2447人、重傷者数は121人となり、予想をはるかに上回る大幅な増加となってしまうました。埼玉県では、460人と同様な傾向です。これは、ちょうど年末のクリスマスの時期の人の交流を受けているという見方もあります。グーグル予測では、1月31日までに、コロナ陽性者は19万1千500人増加、死亡者は4550人に達するとの予想がでています。

川越市にある埼玉医大総合医療センターでコロナの治療にあたっている岡 秀昭(ひであき)先生が次のようにテレビインタビューに答えていました。「もう重傷者のためのベッドはいっぱいです。コロナを甘く見ないでほしい。発熱が何日か続き、本人はなんともないのに呼吸状態が著しく悪い。そして急変し、亡くなる。これが風邪とおなじですか！」医療機関は「逼迫」ではなく「崩壊」が始まっている。これは、がんなどのコロナ以外の病気で入院したり、手術をしたりすることができなくなることが多くなるということです。

コロナウィルスに感染しないためには、今まで皆さんは大変よく取り組んできましたが、さらに次のことを確実に行わなければなりません。

- 1 マスクをすること
- 2 手洗い、消毒をすること 特に目、口、鼻を触るまえ
- 3 常時換気をすること
- 4 ソーシャル・ディスタンスを保つこと

では、皆さんの様子はどうでしょう。

- 1 マスクをすること

「マスクをしていれば安全だ」と思っていないませんか？マスクをしていても大きな声をだせば小さな飛沫は飛びます。マスクと鼻の横に隙間はありませんか。鼻を出してマスクをしていませんか。友達と話すときにマスクをとっている生徒もたまに見受けられます。登下校中にマスクを取り、友達を話している光景もある。マスクをつけていない給食の時のおしゃべりは禁止です。

- 2 手洗い、消毒をすること 特に目、口、鼻を触る前

養護教諭が石鹸を流しに多く設置してくれました。最初の緊急事態宣言の時は、よく手洗いをしてくれましたね。気候が温かったから。今はどうですか？寒くて冷たい。手を洗わないことは、とても心配です。冷たくとも手をあらいましょう。特に給食の前はとても重要です。

- 3 常時換気をすること。

これも寒くて、つい窓を閉めてしまう。日差しが低くまぶしいので、窓を開けていてもカーテンを閉めて空気の流れを止めてしまう。是非工夫して空気の流れを作って換気をしてください。屋外は安全でしょうか？屋外のバーベキューで、クラスターが発生した事例は、多く報告されています。

- 4 ソーシャル・ディスタンスを保つこと

友達と手をつないでいたり、腕をくんでいたり、抱きついていたり・・・。離れること。離れていることは、仲が悪いというのではない。相手を大切にからこそ離れるのです。密着しているのは、相手を大切にしていないことなのです。この場合の相手とは友達、友達とその御家族までを指します。

コロナウィルスは、感染した後に発熱などの症状がでる。つまり、コロナウィルスに感染していても無症状なことが多いのです。知らないうちに移し、移される。皆さんの中には、保護者の方が医療関係者、飲食業に従事している方も多いです。自分自身の安全のため、自分の家族の安全のため、友達の安全のため、友達の御家族の安全のため、先生方の安全のため、緊急事態宣言を受け止め、4つの感染防止行動を確かに行き、富士見中のみんなで乗り越えていきましょう。